

教 授 会 議 事 録

日 時：平成 17 年 12 月 13 日（火）午後 3 時 00 分から午後 4 時 25 分

場 所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 23 名、助教授 11 名

議事録の確認

平成 17 年 11 月 8 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 教育研究評議会

① 総長候補者推薦方法検討 WG から報告のあった教育研究評議会における総長候補者の推薦方法について、配付資料に基づき説明があった。

また、総長候補者については、総長選考会議議長に対して 3 月 20 日までに提出することになっていることの報告があった。

(2) 部局長連絡会議

① 平成 17 年度以降の教員人件費配分にかかる原則及び方法等について、説明があったこと。

② 文部科学省『魅力ある大学院教育イニシアティブ』プログラムにかかる本学及び他大学の採択状況について、報告があったこと。

なお、工学研究科の電気・情報系、応物系で申請した「生体・ナノ電子科学国際教育拠点」プログラムが採択されている旨の付言があった。

(3) 全学労使懇談会

給与制度に関し、人事院勧告の取扱いについて、下記の話合いが行われたこと。

① 本学の基本方針として、人事院勧告に基づく平成 17 年度の給与改定は行わない。

② 平成 18 年度については、給与勧告のとおり俸給水準を平均 4.8%引下げる。調整手当に替わる地域手当 6%を加えても、現行の水準と比較すると約 2%下がる予定であること。

③ 経過措置として、新俸給水準が 3 月 31 日の俸給水準に達しない職員に対しては、その達するまでの間は 3 月 31 日の俸給水準は保障する。

(4) 財務戦略会議

人事院勧告に伴う給与制度について、説明があったこと。

(5) 国立大学附置全国共同利用研究所・研究センター協議会

国立大学全国共同利用研究所の評価については、ユーザー側から見た視点でも行う方針を、文部科学省で決定したこと。

このことに関連し、議長からは、更に評価の項目が増えると思われるので、協力願いたい旨の依頼があった。

(6) 学生生活協議会

① 平成 18 年度入学試験当日の協議員の勤務体制について、報告があったこと。

② 旧有朋寮問題の裁判の一審判決は大学側の勝訴であったが、学生側が控訴したこと。

③ ユニバーシティハウス三条の管理運営 WG 設置について、報告があったこと。

(7) 男女共同参画委員会

① 平成 17 年 11 月 26 日に仙台国際センターで開催した男女共同参画シンポジウムについて、盛況のうちに終了したこと及び参加協力に対する謝辞があった。

② 12 月 9 日締切りで行った育児休業に関するアンケートの協力に対する謝辞があった。

なお、アンケートには制度周知の目的もあるので、回答をしなかった場合でも目を通してもらいたい旨依頼があった。

(8) 広報連絡会議

平成 19 年春に出版を目指している「単行本 東北大学」(仮称)の製作にあたり、作成を依頼した業者(仙台博報堂)が、今後 1 年間各部局を写真撮影することになったので協力願いたいこと。また、掲載を希望する事項及び写真等があったら、総務委員会にお知らせ願いたいこと。

2. 運営会議等報告

(1) 評価委員会

- ① 部局評価(研究等)について、前回の教授会等で提出された意見を基に修正し、11 月末に本部事務機構に提出したこと。なお、提出した部局自己評価報告書については、Web 上に掲載した旨付言があった。
- ② 部局外部評価について、平成 18 年 10 月頃の運営協議会への報告を目指しタイムテーブルを作成したことが、配付資料により説明があった。また、外部評価委員については、12 月 22 日までに推薦願いたいとの依頼があった。

(2) 研究企画戦略室

- ① 大阪大学産業科学研究所との研究交流会を、平成 18 年 1 月 26 日に仙台を会場に行うこと。
なお、世話人は、半導体スピントロニクス研究部教授及び物性情報工学研究分野教授で、プログラム等の詳細については E-メール等で周知するので、多数参加願いたい旨の依頼があった。
- ② 12 月 6 日に科学技術振興調整費の説明会があり、公募案内については 12 月末に配付する予定で、締切りは 2 月末日であること。注意点としては、昨年度からの継続プログラムについても見直す方針であること。
- ③ 文部科学省『魅力ある大学院教育イニシアティブ』に採択された「生体・ナノ電子科学国際教育拠点」プログラムについて、対象が修士 1 年生、学部 4 年生、若手研究者となっており、次の交流プログラムが用意されているので応募してほしいこと。また、2 度目の説明会を近々開催するので参加してほしいこと。なお、テーマが合致すれば、情報科学研究科所属でも応募できること。
 - ・ 国内外の教員・研究者の招聘 6~8 名程度
 - ・ 若手研究者(若手の助教授、助手、博士研究員等)の海外派遣(1 週間程度) 6~8 名程度
 - ・ 海外学生の受入
 - ・ 修士 1 年の海外派遣、国内派遣
- ④ 平成 18 年 2 月 7 日に東京赤坂プリンスホテルで開催される東北大学イノベーション 2006(仙台の夕べ)に、実世界コンピューティング研究部・誘電ナノデバイス研究分野・応用量子光学研究分野に出展を依頼したこと。

(3) 安全衛生委員会

安全衛生管理者が巡視した結果に基づき、種々の対策を行っていること。

(4) 総務委員会

個人情報保護法への対処のため、平成 17 年 4 月から Web 公開を中止していた通研研究者総覧について、今般システムを変更し、すべての項目の公開・非公開を各自が Web 上からの変更を可能としたので、公開したい旨の依頼があった。

(5) 予算委員会

今年度の予算の追加配分について、1 月教授会で正式に報告することとなるが、今年度限りの特別措置として、追加配分財源に所長裁量経費を補う形で昨年度並みの配分が可能になったこと。ただし、今後は、効率化係数 1%が係ってくるため、予算が減額されることになり、同額の予算配分は難しいので、更なる外部資金の獲得に力を注いでもらいたいこと。

(6) 移転対応プロジェクト委員会

委員会に外部専門家として、(株)東北設計計画研究所 代表取締役をお願いしたこと及び、来週第 1 回委員会を開催する予定である旨の報告があった。

(7) 学部教務委員会

10 月 31 日及び 12 月 5 日開催の工学部教務委員会並びに、11 月 1 日及び 12 月 6 日開催の系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があった。特に、下記の点について依頼があった。

- ① カリキュラムの編成について、後日メールするので意見があったら申し出てほしいこと。
- ② 公開講義の参加者が、40 数名だったこと。
- ③ 現在 1 次配属が行われていることに関連し、研究室配属のための研究室見学の方法について、種々意見交換を行ったが、なお意見があったら学部教務委員会委員に申し出てほしいこと。

3. その他

- (1) 議長から配付資料に基づき、職員の受賞について紹介があった。
- (2) 議長から配付資料に基づき、通研リサーチフェロー称号付与について報告があった。
- (3) 監事監査の実施について

議長から、12 月 8 日（木）実施された監事監査について、監査事項は、個人情報保護体制、危機管理体制、事務の効率化方策等であったことの報告があった。

今回監査を行った監事は、阪神淡路大震災の経験者であり、特に、指導を受けた点は、非常時の対策本部を耐震構造上危険な通研 2 号館に置くのは問題があること及び、危機管理体制で一番難しいのが、職員及び学生等の安否情報の確認であること。現段階では、ネットワークシステムでの情報収集が一番良い方法であると考えられるので、やわらかい情報システム研究センターにおいて、その方法について検討をお願いしたいとの依頼があった。

- (4) 半導体スピントロニクス研究部教授から、配付資料に基づき、特別教育研究経費で措置されている「ナノエレクトロニクス国際共同研究拠点創出事業」の一環として、平成 18 年 2 月 8・9 日にナノ・スピン総合研究棟を会場に「半導体スピントロニクス国際ワークショップ」を行うとの報告があった。
なお、この国際ワークショップを、通研国際シンポジウムと位置付けてほしい旨の提案があり、承認した。

II. 協議事項

1. 研究組織の柔軟性の確保について

副所長（研究企画担当）から、配付資料に基づき説明及び提案があり、承認した。

2. 規程の改廃について

総務課長から、10 月 18 日開催の部局長連絡会議での報告及び 10 月 26 日開催の役員会において承認された学内規則の整備方針に基き、下記の規則を改正、制定及び廃止することについて、配付資料により説明及び提案があり、承認した。

(改正)

- ① 東北大学電気通信研究所規程

(制定)

- ② 東北大学電気通信研究所運営協議会内規
- ③ 東北大学電気通信研究所附属ナノ・スピン実験施設内規
- ④ 東北大学電気通信研究所附属ブレインウェア実験施設内規
- ⑤ 東北大学電気通信研究所附属二十一世紀情報通信研究開発センター内規

(廃止)

- ⑥ 東北大学電気通信研究所所長選考及び任期規程
- ⑦ 東北大学電気通信研究所運営協議会規程
- ⑧ 東北大学電気通信研究所附属ナノ・スピン実験施設規程
- ⑨ 東北大学電気通信研究所附属ブレインウェア実験施設規程

⑩ 東北大学電気通信研究所附属二十一世紀情報通信研究開発センター規程

Ⅲ. その他

1. 電気・情報 東京フォーラム 2005 について

議長及び実行委員長から、11 月 28 日（月）にアルカディア市ヶ谷私学会館で開催した電気・情報 東京フォーラム 2005 について、600 余名の参加があり盛会のうちに無事終了した旨の報告及び出席者並びに協力に対する謝辞が述べられた。

また、議長から、東京フォーラムの一環行事として行った通研創立 70 周年記念講演会について、配付資料により報告があった。

なお、このことに関連し実行委員長から、実行委員会を 12 月 27 日に開催し、反省点及び来年度の方針を検討するので、意見があったら実行委員長又は幹事にお知らせ願いたいことの依頼があった。

2. 議長から、来年度の各部門長及び各種委員会委員の交代について、準備を進めてもらいたいこと及び 1 月中旬頃までに庶務係へ報告願いたい旨の依頼があった。

3. 議長から、教授会懇親会の幹事長の指名があった後、幹事長から、副幹事長の指名があった。なお、開催日時等については、未定であることの付言があった。

4. 平成 17 年度利益相反定期自己申告の実施について

総務課長から、先般行われた利益相反マネジメント概要説明会で説明のあった利益相反定期自己申告を行う旨の報告及び協力依頼があった。なお、提出期限は、平成 17 年 12 月 19 日で、提出先は庶務係である旨の付言があった。

5. 年末年始の庁舎管理について

経理課長から、年末年始の庁舎管理について、下記の報告及び依頼があった。

① 入口開閉時間 施錠時刻 平成 17 年 12 月 28 日（水）17：30

開錠時刻 平成 18 年 1 月 4 日（水）8：00

② 閉館期間内に特別の用務で登庁する場合は、警備員室に備え付けの「入室者名簿」に所要事項を記載の上、入庁すること。